

地域密着型金融の取り組み状況

(2019年4月1日～2020年3月31日)

2020年5月
遠軽信用金庫

当金庫の地域密着型金融（リレーションシップバンキング）は、金融庁の金融審議会報告書「地域密着型金融の取り組みについての評価と今後の対応について―地域の情報集積を活用した持続可能なビジネスモデルの確立を―」において、恒久的な枠組みとして推進すべきとの提言がなされたことを踏まえ、長期経営計画「えんしん「共創力」発揮3か年計画」及び「2019年度事業計画」の基本方針に掲げ、お取引先企業への支援及び地域経済への貢献に向けて取り組んでおります。

今般、2019年度における取り組み状況を報告いたします。

1. 全体的な取り組み状況

地域密着型金融の全体的な取り組み状況は、長期経営計画「えんしん「共創力」発揮3か年計画」及び「2019年度事業計画」の具体的施策に基づき、概ね計画どおり実施いたしました。

重点事項毎の取り組み概要は、次のとおりであります。

(1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

お取引先企業の資金繰り支援や貸出条件緩和への取り組みなどの経営支援活動を積極的に推進いたしました。とりわけ、事業先をリストアップのうえ訪問活動を実施し、業況の把握や資金繰り支援に努めたほか、延滞中や条件緩和を希望しているお取引先に対しましては、ヒアリングを行い条件緩和について柔軟に対応いたしました。

また、セミナー、経営相談会及び若手経営者交流会などを開催し、お取引先の経営力強化に努めました。

(2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

目利き能力や事業性評価能力の向上に向けた研修等への職員派遣及び集合研修の実施等により、人材育成に努めました。

(3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域金融機関としてネットワークを広げ、専門家、専門機関と連携し、情報集積に努めましたほか、遠軽地方景況レポートなどの有用な経営情報の提供に努めました。

また、小学生及び高校生向け金融教育講座の実施や中小企業大学校旭川校の受講費用助成など社会貢献活動にも努めました。

2. 進捗状況に対する評価

(1) 計画に掲げた取り組みの実施状況は、総じて順調と評価しております。特に、既往事業資金取引先を対象として、5月から6月及び11月から12月に延べ2,006先の訪問活動を展開し、業況の把握や資金繰りについて支援することができたほか、条件緩和についても柔軟に対応することができたものと評価しております。

経営改善支援につきましては、個別の経営相談会を延べ43回開催したほか、不動産賃貸業経営支援セミナー及び遠軽・紋別地方若手経営者交流会を開催し、参加者等から高い評価をいただくことができました。

また、中小企業経営者及び従業員を対象とした、中小企業大学校旭川校の研修受講費用の助成を行い、地域中小企業の事業活性化に貢献することができたものと評価いたします。

- (2) 経営改善支援等の取り組み実績につきましては、経営支援先25先に対して経営指導を行い、厳しい経営環境であることから、ランクアップに至った先はなく、1先がランクダウンという結果となりました。

3. 取り組み状況の詳細

具体的な項目毎の取り組み状況の詳細は、別添「地域密着型金融の取り組み状況表(2019年4月から2020年3月)」及び「経営改善支援の取組実績」のとおりであります。

地域密着型金融の取り組み状況表

(2019年4月から2020年3月)

項 目	取 り 組 み 状 況
ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	
創業・新事業支援	
<ul style="list-style-type: none"> ○ アパート創業及びメディカル開業などの融資支援 アパート創業及びメディカル開業について、ハウスメーカーや医療機器販売会社等から情報を収集し、堅実な事業経営のノウハウについて提供を行うものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ アパート創業及びメディカル開業資金の2019年度の支援実績は、アパート創業28先2,174百万円、メディカル開業1先5百万円でありました。 ○ アパート創業資金については、前年を下回る実績となったものの、安定したニーズが認められ、好調であると評価しております。メディカル創業資金については、前年を下回る実績となったものの、ニーズは認められることから、今後も積極的に資金提供を行います。 ○ アパート市場が供給過剰の傾向にあること、また、他行との競争も激化していることから、今後も継続して優良案件を発掘することが課題であります。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 商工会議所、商工会と提携した創業支援資金融資制度の活用促進 ネットワークを広げ、基盤地区の創業先等の資金ニーズにきめ細かく対応するため、創業支援資金「チャレンジ」を遠軽商工会議所、えんがる商工会、湧別町商工会及び佐呂間町商工会と提携して推進するものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2019年度の活用実績は、太陽光発電事業の開始に伴う設備資金3先56百万円、飲食店開業に伴う店舗改修資金1先5百万円、リハビリ・ディサービス開業に伴う施設内装等設備資金1先5百万円であり、地域の活性化に貢献できたものと評価しております。 ○ 今後とも商工会議所及び各商工会との連携を密にし、創業・新事業に対する支援に努めていく方針であります。
経営改善支援	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 貸出条件緩和への取組 2008年11月7日の金融検査マニュアルの改訂及び金融円滑化法の施行に伴い、積極的に相談をお受けし、既存貸出の条件変更等に対応しております。また、金融円滑化法が2013年3月末をもって失効となりましたが、引き続き条件変更等により柔軟に対応するものであり、延滞中、延滞傾向及び条件緩和を要望している債務者とヒアリングを行い、合理的で実現可能性の高い経営改善計画書を策定する等により、可能な限り貸出条件の変更に応じるものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2019年度に貸出期限延長等条件緩和を行った貸出は、61件490百万円でありました。 ○ 金融検査マニュアルの改訂に沿った活動により、十分な成果があったと評価しており、今後も金融円滑化の観点から、引き続き可能な限り支援を目的とした貸出条件変更等を行っていく方針であります。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 経営相談・支援業務の継続 厳しい地域経済環境を踏まえ、取引先企業の経営改善支援の取り組みを継続し、不良債権の増加抑制に努めるものであり、経営支援先25先の経営改善指導に努めるものであります。 なお、経営改善支援方法の充実策として、1先を選定のうえ、「経営再生プラン」を選定し、実行中であります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2019年度においては、経営支援先25先に対して経営指導を行い、厳しい経営環境であることから、ランクアップに至った先はなく、1先がランクダウンという結果となりました。 ○ 2020年度においても、債務者区分のランクアップを図るため、継続して充実した支援活動を行っていく方針であります。

項 目	取 り 組 み 状 況
<ul style="list-style-type: none"> ○ 資金繰り支援 既取引先に対して業況の聞き取りを行い、新たな資金ニーズの把握や金融円滑化に対応した貸出条件の変更等必要な措置を行い、取引先の安定経営を図るものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2019年度中に2回、当金庫と融資取引のある事業所を中心とした一斉訪問活動を実施し、取引先の資金ニーズ等の把握に努めた結果、訪問先数延べ2,006先のうち、資金ニーズ有りの先延べ265先、条件変更検討先延べ19先、経営支援検討先延べ30先、事業承継支援検討先延べ16先でありました。当金庫から能動的にアクションを起こしたことにより、取引先の資金ニーズに迅速な対応が図られ、また、当金庫に対する信頼が深まったと評価しております。 ○ 当面、地域経済の停滞が続くことが予想されることから、引き続き、資金ニーズ等の発掘及び把握に向けた一斉訪問活動を実施していく方針であります。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 経営相談会の開催 当金庫の取引先である中小企業の経営課題や事業承継問題の解決に寄与するため、経済産業局中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業、しんきん事業承継支援ネットワークや北海道信用保証協会との連携による専門家派遣を活用した経営相談会を開催し、取引先の課題解決に向けた取り組みを支援するものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2019年度は、個別相談会を延べ43回開催し、課題解決に向けた経営相談を行いました。個別相談を受けた取引先からの評価は高く、継続して実施してほしいとの依頼があり、経営相談会の効果を高く評価しております。 ○ 2020年度においても経営相談会を継続して実施し、取引先の経営力アップと経営者の抱える事業承継問題の解決につながる取り組みを継続して実施する方針であります。
<ul style="list-style-type: none"> ○ セミナーの開催 当金庫取引先の課題解決や継続的な事業発展に貢献するため、「不動産賃貸業経営支援セミナー」を開催し、中小企業経営者の経営改善及び継続的な事業発展を図るものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2019年9月、札幌市において「空き家を活用した民泊事業の現状と今後について」及び「実践 相続税」をテーマとして、札幌地区のアパートローン取引先を中心に236名に参加いただき、「不動産賃貸業経営支援セミナー」を開催しました。 ○ セミナー後のアンケート結果から、大変有益であったとの声が多く、十分な成果があったと評価しており、今後も継続して取引先が求めるセミナーを開催していく方針であります。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「遠軽・紋別地方若手経営者交流会」の開催 「遠軽・紋別地方若手経営者交流会」は、若手経営者に、セミナー及び懇親会を通じて交流の機会を提供し、経営者としての素養と見識を高めるとともに、企業の事業発展に寄与するため企画・開催するものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2020年2月、55名に参加いただき、デジタルスキルトレーニングをテーマとしてセミナーを行った後、懇親会を開催し、交流の機会を提供しました。 ○ 2019年度からは、紋別地方の経営者も参加対象とし、より多くの経営者に参加いただくことができました。 ○ 参加者の評価は高く、継続して実施してほしいとの要望があり、2020年度においても、継続して実施していく方針であります。
<p>事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底</p>	
<p>目利き能力の向上、人材の育成</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 目利き能力の向上、人材の育成 職員の審査能力の向上を図り、中小企業金融に関する経営相談機能の拡充を目指すものであります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2019年度においては、全信協が主催する「目利き力養成講座」、「創業支援推進セミナー」、「中小企業支援のための補助金活用セミナー」及び「中小企業の事業承継支援研修」に各1名、「事業性評価融資推進講座」に2名、北信協が主催する「事業承継支援セミナー」及び「企業再生支援講座」に各1名、「目利き力養成講座」に2名の職員を派遣しました。また、経営支援に関する集合研修を2ブロックで開催し、39名の職員が出席するとともに、

項 目	取 り 組 み 状 況
	<p>「事業性評価講座」を本店で開催し、19名の職員が出席しました。数多くの職員が経営支援に関する講座を受講し、人材の育成がなされているものと評価しております。</p> <p>○ 今後も計画的に研修に取組み、人材の育成に努めます。</p>
<p>地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献</p>	
<p>地域活性化につながる多様なサービス提供</p>	
<p>○ 遠軽地方景況レポートなどの有用な経営情報の提供 取引先企業への有用な経営情報の提供に努めるものであり、信金中央金庫が取りまとめる「中小企業景況レポート」と、当金庫が作成する「遠軽地方景況レポート」を調査対象先等へ配付するものであります。また、「遠軽地方景況レポート」は、ホームページに掲載しております。</p>	<p>○ 四半期毎に、「中小企業景況レポート」及び「遠軽地方景況レポート」を調査対象先等へ配付するとともに、「遠軽地方景況レポート」については、ホームページに掲載し、取引先企業に有用な経営情報が提供できたものと評価しております。</p> <p>○ 今後も「遠軽地方景況レポート」の内容充実に努める方針であります。</p>
<p>○ 金融教育講座の実施 社会人として必要な金銭知識や金銭感覚について学習することにより、貯蓄意義の理解、金融犯罪被害の防止及び多重債務の回避を図ることを目的に、遠軽地区の小学生及び高校生向けの金融教育講座を開催するものであります。</p>	<p>○ 2019年12月、遠軽町内の小学校3年生・4年生（30名参加）を対象に「えんしんマネー教室」を開催し、お小遣い帳の記入方法やお金の使い方などを勉強していただきました。</p> <p>○ 2019年12月に湧別高校3年生（39名参加）、2020年1月に遠軽高校3年生（約140名参加）を対象に、「多重債務に陥らないために」と題した講演を行いました。</p> <p>○ 参加した児童・生徒には真剣に話を聴いていただき、講義の内容は十分に伝わったと評価しております。今後も対象先を拡大し、継続的に実施する方針であります。</p>
<p>○ 中小企業大学校旭川校研修受講費用の助成 地域の中小企業の事業活性化に資するため、中小企業の経営者や従業員が中小企業大学校旭川校の研修を受講する場合の受講費用を助成するものであります。</p>	<p>○ 2019年度は、11件291千円の受講費用を助成しました。</p> <p>○ 中小企業大学校旭川校の講座カリキュラムから希望する講座を受講いただき、必要な知識を習得できることから、地域の中小企業の事業活性化に貢献することができたものと評価しており、今後も継続して実施する方針であります。</p>

経営改善支援の取組実績

(2019年4月～2020年3月)

(単位:先、%)

	期初 債務者数	うち 経営改善支 援取組先数	α のうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数	α のうち期末 に債務者区分 が変化しな かった先数	α のうち再生 計画を策定し た先数	経営改善支援 取組率	ランクアップ率	再生計画 策定率
			β	γ	δ			
	A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α
正常先 ①	1,921	9	/	9	9	0.4	/	100.0
要注意先 うちその他 要注意先 ②	106	13	0	12	13	12.2	0.0	100.0
要注意先 うち 要管理先 ③	1	1	0	1	1	100.0	0.0	100.0
破綻懸念先 ④	22	1	0	1	1	4.5	0.0	100.0
実質破綻先 ⑤	9	1	0	0	1	11.1	0.0	100.0
破綻先 ⑥	1	0	0	0	0	0.0	-	-
小計 (②～⑥の計)	139	16	0	14	16	11.5	0.0	100.0
合計	2,060	25	0	23	25	1.2	0.0	100.0